

「平成26年度学校教育学部同窓会総会・研修会」を開催

年が明けてすぐの平成27年1月10日(土)に、恒例の同窓会総会・研修会が開催されました。今年度も昨年度に引き続き、兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスでの開催となり、同窓生に学長はじめ大学関係者を加えた54名が集いました。

今年度の開催は、5・6・15・16・29期の卒業生が主担当で、総合司会は亀井(木原)綾美〔5期〕さんが務めてくださいました。総会ではまず、上村 真〔5期〕さんが議長として選出され、以下の議案について審議がなされました(カッコ内は報告者)。

- 1号議案「平成25年度事業報告」(淀澤勝治〔2期〕庶務)
- 2号議案「平成25年度会計決算報告及び監査報告」(森田啓之〔1期〕庶務, 笠原 恵〔1期〕監査)
- 3号議案「平成26年度役員(案)」(森田啓之〔1期〕庶務)
- 4号議案「平成26年度事業計画」(淀澤勝治〔2期〕庶務)
- 5号議案「平成26年度会計予算(案)」(森田啓之〔1期〕庶務)

1号議案については、現役生に対する課外活動支援として、全国大会に出場した準硬式野球部に激励金を拠出したことなどの報告がなされ、承認されました。また、その他の各議案もすべて、拍手をもって原案通り承認されました。



研修会では、まず最初に、創部以来、初めて全国大会に出場した準硬式野球部から一年間の活動報告が行われ、全国大会出場を決めた関西リーグでの一位通過といった活躍が、「うれし



涙」(tears of joy)を合言葉として日々取り組んできた練習の賜物であったことをうかがい知ることができました。

次に、大石学〔10期〕同窓会会長から挨拶があり、続いて加治佐哲也学長から祝辞が述べられました。学長からは、少子化や国の財政難といった現況のなかで本学がさらに発展するために、卒業生が教育現場で役に立って

いることを実証できるように努力奮闘してほしいといった旨のお言葉を頂戴いたしました。

研修会での講演は、兵庫教育大学大学院教授 庭瀬敬右 先生による『科学的な観点から「学力」と「生きる力」を考える』と題して「詰め込み教育」と「ゆとり教育」といった二つの教育における弊害と必要性を明快に述べていただきました。「学び」には蓄積された数多くの体験（遊び）がまず必要であること、そしてそれを土台として、「修行」や「鍛錬」という形で基礎基本を徹底的に習得し、その後に自分なりの応用を加え、最終的には形にとらわれない自由な境地に至



るといった、芸道の上達の基本原則でもある「守破離」の重要性を丁寧に解説いただきました。最後に、「生きる力」（創造性）の主要態度は、「努力・持続性」と「自主・独立性」であり、そうした態度の獲得には感動体験を与えることが必要であることが述べられ、「よく学び、よく遊べ」といった格言が実に正鵠を射たものであることが語られました。講演後には小学校低学年を担当する

参加者の質問から、低学年では「知識」の詰め込みも重要であるが、それよりもむしろ「体験」の蓄積の方が求められるのではないかといった議論もなされ、大変充実した研修会となりました。庭瀬先生、本当にありがとうございました。

最後に記念撮影が行われ、学長のほか、福田光完副学長らとともに、参加した同窓生一同が一枚の写真におさまりました。当日の企画運営におきましては、兵庫教育大学の都道府県連携本部の皆さまに多大なご協力をいただきました。記してお礼申し上げます。

平成 27 年度の同窓会総会・研修会は、3・4・13・14・30 期の卒業生が中心となって担当し、平成 28 年 1 月 9 日（土）に兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスで開催する予定です。今年にも増して多くの同窓生が集うことを願っています。

